

幕末残酷物語 (1964)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1964/12/12

【解説】

国弘威雄のオリジナル脚本を加藤泰が監督した。新撰組というシステムの中で、徐々に人間性を破壊されていく若者たちの悲劇を描く。国弘はブルーリボン賞で脚本賞を受賞した。

剣術もおぼつかない江波三郎が新撰組に入った。隊長の近藤と副隊長の土方は、隊士たちを厳しい規律と激しい訓練で統率。坂本龍馬に内通する新人隊士が捕らえられた際、近藤は江波に処刑を命じた。それ以来、江波は近藤に認めてもらうため、進んで隊士の首斬りを行うようになった。長州軍との対決の前夜、江波は山崎に呼び出さる。江波は近藤たちに抹殺された芹沢鴨の甥で、海援隊から遣わされた間者だったのだ。江波は新撰組の非人間性を叫びながら、近藤に立ち向かっていった。

【クレジット】

監督 加藤泰
製作 大川博
脚本 国弘威雄
撮影 鈴木重平
美術 富田次郎
音楽 林光
出演 大川橋蔵
内田良平
河原崎長一郎
藤純子
大友柳太朗
立川さゆり
西村晃
中村竹弥
木村功
千葉信男
博多淡海